

学校だより みんなの森合小

～ 自分の考えをもつ力 人を大切にする力 自分を表現する力 チャレンジする力～

NO. 3

令和4年5月27日

発行者

森合小学校長 渡邊かほる

「〇〇ができた」から、「〇〇を通して、何を学んだか」へ

～6年生が 出場した「第45回福島市鼓笛パレード」～

5月11日、第54回福島市鼓笛パレードが、「とうほうみんなのスタジアム」で感染予防対策をしながら開催され、森合小学校からは、6年生が出場しました。鼓笛については、参加する目的、練習する時間の確保や扱う楽器等について、子供たちの実態と学校教育・カリキュラムとの関係など、様々な視点で検討してきました。

まず、オーディションや練習時間の確保が課題となっていました。昼休みは、休み時間として子どもたちの心と体を休めることが目的となっています。また、授業時間は、学ぶ内容が決まっています。そこで、「昼休みは、全体練習は行わず、自主練習のみとする。」「小学生にとって習得の時間を必要以上に要する金管楽器から、通常の授業で扱う鍵盤ハーモニカを中心に編成する。」「行事として練習2時間、音楽科（合奏）、体育科（表現運動）の時間を20時間程度、練習時間として活用する。」など、環境を整え、進めてまいりました。3月末から4月初めに、新型コロナウイルス感染予防により時間が確保できずに、1週間ほど昼休みに短時間練習せざるを得なかったことや音楽科の合奏や体育科の表現運動（ダンス・創作ダンスなど）を削減せざるを得なかったことは残念でしたが、「鼓笛を通して、全員で動きや音を合わせて演奏や行進をすることの楽しさやパレード参加に向けて他者と協働的に取り組むことを学ぶ。」という目的は達成できたといえます。

新型コロナウイルスの猛威が収まらない中、6年生と6年生担任は、昨年度の1月から、楽器演奏の制限や学年単位での活動制限を受けながらも、工夫して、今できることに前向きに取り組みました。当日の堂々とした演奏、行進も本当に素晴らしかったのです。今後も、結果や表面的な事象だけでなく、過程を大事にして意味づけし、次に繋げていきます。「〇〇ができた」から、「〇〇を通して、何を学んだか」を重視していきます。

ご紹介

新しく着任した先生と、スクールカウンセラーを紹介いたします。

復興加配（講師）

佐藤 布有子 先生

5月1日に着任しました。分科として、3～6年生の図工・音楽等を担当します。転出入の手続きや児童理解・教育相談部としても活躍していただきます。職員室にあります。



スクールカウンセラー

瀬戸 豊子先生

これまで、数々の学校でスクールカウンセラーとして経験を積んできた先生です。子供たちに積極的に話かけたり、一緒に遊んだりしていただきます。保護者の相談予約もお待ちしております。



カルガモの親子 ～大切な命～

中庭で、カルガモの「ヒナ」が誕生しました。子供たちは、興味津々です。誕生した4羽のうち1羽が弱っていました。「人の手で触ってはダメ。」「病院で手当してもらおう。」「どうしよう。」「どう行動するのか、大人は見守ります。



◎ご家庭での話題に・・・

【みんなの大切な約束】

相手が嫌がることはしない、言わない
・自分や友達の心と体を大切にする

QRコード



<学校だより発行>「みんなの森合小」月第1週・第3週に予定 HP掲載（ペーパレス化予定）

<森合小HP掲載>福島市公立小中特別支援学校ポータルサイトに 週2～3回 Blog 掲載予定

森合小学校は、大切な地域の宝、そして地域の誰もが通える「みんなの学校」です。地域、保護者、子ども、教職員など学校に関わる全ての人で創っていくために、情報を発信していきます。